

平成30年度 第3回伊勢原市総合運動公園再生修復方針検討委員会 会議録

- [事務局] みどり公園課
- [開催日時] 平成30年4月20日(金) 15:00~16:30
- [開催場所] 伊勢原市立子ども科学館 第3会議室
- [出席者]
- (委員) 福岡委員長、高山副委員長、田中委員、岩崎委員、能條委員代理、高木委員、山宮委員、稲葉委員
- (事務局) 都市部：重田部長
みどり公園課：陶山課長、吉田担当課長、大園係長、他2名
スポーツ課：小泉係長
- [公開の可否] 公開
- [傍聴者] 0名

《会議経過》

- 1 開 会
- 2 あいさつ (重田都市部長)
- 3 議 題
・「総合運動公園再生修復方針のまとめ」
- 4 その他
- 5 閉 会

《会議の内容》

○重田部長あいさつ

○議題

(1) 総合運動公園再生修復方針のまとめ

事 務 局 ・資料2「伊勢原市総合運動公園再生修復整備方針（案）」、資料3「伊勢原市周辺の主要運動公園 駐車場整備状況」に基づき事務局より説明

委 員 長 ・ありがとうございました。御意見、御質問がございましたらお願いします。

委 員 ・遊具の配置によって、花火ができなくなることはないのでしょうか。
・もう一点は、子どもの広場に「のびのび広場」「キッズ広場」「親子広場」がありますが、レイアウトの考え方を教えてほしい。

事 務 局 ・花火の打ち上げ場所については、今回の花火大会の前に現地立ち会いを行い、この施設配置によって影響はないことを確認している。
・子どもの広場のレイアウトの考え方は、現状もある芝生空間を確保すること、要望の高いトイレとキッズ広場を近くに配置すること、既存の遊具を活用し、その周囲に配置することを考えた。

委 員 ・施設の中で一番広いのは野球場ですが、野球以外に使うことはできないか。鈴川の野球場もそうですが、平日の昼間に一番広いところが空いている状況である。

事 務 局 ・施設に影響を与えない範囲で、イベント等で活用することはある。しかし、野球場は、球場内に多くの人を入れることを想定した作りではないことから、フレキシブルな利活用は難しいものと考えている。野球の施設とともに、地域防災計画における自衛隊の活動スペースの位置づけがあることなどから、この空間機能は必要な施設であると考えている。

委 員 長 ・運動公園の平日の昼間はどこも空いているのが実情である。他の自治体もそうなのですが、小さな子どもが利用する時間帯も含めて、どのように市民全体で使っていくかが課題だと考える。これは、ハードの問題ではなくて、今後の運営の在り方につながる課題であると考えている。この施設は、指定管理者が管理を行っていますが、都市公園法の改正があり、民間企業

が入り公園全体のプログラムや運営を行うことができるようになった。こういうことも含めて、公園を活性化させる方策を検討することは今後の課題であると認識している。

委員 ・16 ページの防災計画に関連して、この施設の排水は浄化槽から調整池に排出しているため、マンホールトイレを設置すれば、災害時にライフラインの復旧を待たなくて使用が可能となる。防災拠点として機能強化するために、整備を検討していただければと思う。

・26 ページのキッチンカーの配置について、保健所の規制が厳しくなり出店が少なくなっているということを知っている。一方、イベントによっては、沢山出店している事例もあり、収益性がないと難しいと思う。本計画で、あてにすると難しいのかなと感じた。

・30 ページの親子広場ですが、体育館に授乳施設という話もありましたが、そこまで遠いので、おむつ交換台を備えたトイレに併設する形で、流しの付いたスペースを確保できると、子育て世代に優しいのかなと思う。

事務局 ・防災機能の強化につきまして、地域防災計画では、本公園は、発災時の広域防災拠点から復興時の仮設住宅の候補地と、継続して機能することが必要な施設になる。このことを踏まえ、現施設で足りるのか、足りないのか、防災所管課と協議しながら機能強化に向けた検討を進めていきたいと考える。

・キッチンカーについては、一つの例として御理解いただきたいと思う。先ほどの委員長の話にありました民間の活力の部分で、中の機能が連携して賑わいの創出に繋げていくというソフト面は、施設の整備と平行して検討していかなければならない部分であると考えている。

・子どもの遊び場の近くにトイレが欲しいという御意見は多く、小さな子どもも使えるトイレを考えている。また、授乳スペースについては、天候に左右されず、安心して利用できる屋内の空間で確保を考えるとともに、体育館の2階部分の活性化も合わせて考えていきたいと思う。

委員長 ・32 ページに回遊性の向上で、ゾーン間の連携機能強化の方向が示されている。体育館の2階の有効活用の話がございましたが、1階や正面の中央広場の部分の有効活用について、今後、庁内で議論されるのでしょうか。

事務局 ・現在、指定管理者さんにおいて、施設の活性化に向けた様々な取り組みをしていただいている。そういう中では、一緒に考えていく必要があるも

のと認識している。

もう一つは、第 1 駐車場から子どもの広場へ向かう動線について、階段が厳しいという意見がある。体育館にはエレベーターを配置しておりますので、それを介して補助的な動線、そして 2 階空間の活性化につながればと考えている。

委員長 ・キッチンカーの話も含めて、整備までには時間がかかるので、その間に公園の活性化に向けて、様々な角度から可能性を探ることができると思う。

委員 ・総合運動公園では、これまでも何回かキッチンカーを配置した事例がある。以前は、体育館の 2 階に食堂がありましたが、現在は無い状態ですので、利用者の利便性を考えるとそういうものは必要であると考えます。
・防災の関係ですが、自由広場が緊急時のヘリコプターの発着場所になっている。ただし、ヘリコプターは高機能化され、砂を巻き込むとエンジンにダメージを負ってしまうとのことです。このことを踏まえ、子ども広場の芝生空間であるのびのび広場は、空地として空けておかないと支障を来すことになると思う。

委員長 ・キッチンカーをイベントに当て込んで利用されたとのことですが、日常的な配置も含め、どの程度だと成立するものでしょうか。

委員 ・販売品の単価も関係してくるかと思いますが、500 人規模の施設利用があれば、常時可能ではないかと考える。現状でも大型遊具を設置してから、常時 20~30 台の車が止まるようになりましたから、これだけの遊具が設置されると、第 2 駐車場の 90 台でも足りない位の需要となるのではないのでしょうか。

事務局 ・ヘリコプターの発着機能の確保としては、芝生空間を確保する中で検討を加えていきたいと考えている。

委員 ・33 ページのランニング・ウォーキングコースにつきまして、それぞれ周回のコースをつくるとしていますが、名称をこのように分けたと理解してよろしいでしょうか。

事務局 ・施設の魅力や地形の起伏を活用したコースのイメージから付けていますので、今の時点では仮称ということである。

- 委員 ・走る方は、全体を使って走ることが多いと思う。そういう面では、敷地全体を使ったコース設定の方向はよいと思う。コースの整備に当たっては、コースの表示や進行方向、距離表示もあるとよいと思う。また、案内図を表示し、進行方向などのルールも明示するとよいと思う。現在、陸上の大会などで、その都度、ゴールを決めて距離を測りスタートの位置を決めている。コースが明確になると利用しやすくなると思う。
- ・大型遊具がある公園は、平日の昼間に未就学児の親子がよく来ている。是非とも、そのような公園が実現することを願っている。
- 委員長 ・委員の御意見の全体を使うというのは、斜面地あたりも含めるということでしょうか。
- 委員 ・全てを活用するイメージです。それぞれ自分の体力に応じて、歩いたり、走ったりできることがよいと思う。
- 委員長 ・コースの整備に当たって、実際に走ってみますと、舗装面や砂利道などいろいろな部分があるのが現状だと思う。当面は、ルートがはっきりできればよいのか、理想的には、走路は専用の舗装などで整備できればよいのかなと思うが、その辺のお考えはあるか。
- 委員 ・できれば整備をいただければよいと思う。現状では、体育館裏の狭い部分や野球場東側の通路など、その部分を使わなければ距離が確保できないという実情もある。
- 委員長 ・33 ページの記述では、コースを認識するという事は理解できるのですが、使っていた中での御意見もあると思いますので、ポテンシャル的にはもう少し書き込んだ方が将来的にもよいのかなと考える。
- 委員 ・市には陸上の協会がありますので、実際に使っている方の意見も聞いていただけるとよいものができると思う。
- 委員 ・展望広場のテラスに、電気設備は付ける考えはあるのでしょうか。防災の拠点を考えた時、この展望広場は見晴らしがよいので、無線のアンテナを設置する場所になると思われる。そこに、電気設備の端末を配置することで、すぐに対応が可能になるものとする。

- 事務局 ・31 ページにテラス空間のイメージを記載していますが、眺望を楽しむ空間として、設備等の配置は考えていない。防災の所管課と協議をしながら、必要な設備の配置について検討を進めていきたいと考える。
- 委員長 ・他都市の事例でもあるのですが、設備を配置することにより、眺望や景観を損なうということもありますので、慎重に検討することが必要であると思う。
- 委員 ・子どものために力が入れられており、楽しみな計画であると思う。その中で、ふわふわドームのイメージが記載されていますが、遊具の清掃などの衛生面は、どのように対応されているのでしょうか。
・また、キッズ広場の3~12歳と年齢の幅があるのですが、小さな子どもが同時に遊んだ時の安全面は、どのように対応されているのでしょうか。
- 事務局 ・ふわふわドームは、中に空気を送り込んで膨らませているので、朝膨らまし、夕方に空気を抜くという管理を行うことになる。また、雨天時等は、施設を開放しないなどの対応を行う。
・安全面では、監視員さんを付けて、年齢に応じた場所を指定するなどの運用をしているのが、近隣市の対応であり、同様の対応が必要であると考えている。
- 委員長 ・今後のパブリックコメントの対応もそうなのですが、「どんな遊具が欲しいですか。」という聞き方ではなく、27 ページにも年齢を考慮したゾーンの考え方が記載されていますが、遊具などのものだけではなくて、遊びの場所としての魅力や使い方の説明を加えていただくと、「こうやって遊ばせたい。」とか意見が出しやすくなるのではないかと思います。
・伊勢原らしさとしては、この斜面部分とか自然を使った遊びがあると思う。監視員さんと言われましたが、今の子どもたちは、プレイリーダーとか遊びのリーダーがいると遊べるが、一人ではどうやって遊んだらよいかわからない子どももいる。そういった人材も入れつつ、施設を整備するとよい雰囲気遊び場をつくることができると思う。
- 委員 ・既存の大型遊具は、小学生を対象として設置しています。実際は、小学生以下のお子さんも親と一緒に楽しんでいる状況である。
・ふわふわドームを設置する場合、人件費や表面の素材の交換などのメン

テナンスで、年間何百万円というコストがかかる。それよりも 28 ページのイメージ写真のように、木製のアスレチック遊具で、自分たちで遊びを創造するようなものがよいと思っている。近隣市にあるから我がまちにもなければならぬというものではなく、自分たちで遊びを工夫できるような施設整備を希望している。

委員 ・中央広場から子どもの広場に行く階段は、狭くて急であり、緩やかにするなどの整備を考えていただきたいと思う。

事務局 ・階段の 2 段目となりますが、体育館 2 階のデッキレベルから子どもの広場へ、ベビーカーなどが通れるようスロープを整備することを考えている。

委員長 ・照明やサイン系統に関しての考えをお聞きしたいと思う。

事務局 ・33 ページを御覧ください。ランニングコースの一部に夜間でも対応できるよう照明施設を配置することを考えている。また、コースの案内サインの設置とともに、ソフト的な面では、34 ページになりますが、セルフガイドシステムとして、解説板やガイドマップ等を考えている。

委員長 ・34 ページに、本公園で活動する団体の記載がありますが、年間どれくらい活動をしているのでしょうか。

事務局 ・環境学習の場として、現在、本公園をフィールドに活動している団体であり、月に 1 回以上の活動、年間 20 回以上の活動は行われている。

委員長 ・指定管理者さんに加えて、運動公園ですのでスポーツなども含め、市民の様々な団体が活動していると思う。こうした団体は、今後、公園全体のプログラムを考える上で、力になってもらえる主体であり、公園全体の活性化に向けた可能性は広がると思う。少し先の話とはなりますが、運営・管理として考えていく必要があると思う。

事務局 ・方針の視点としては、健康づくりがある。子どもから高齢者まで一緒に楽しむことができる場であるために、ソフト的な面でも機能を高める必要があると考えている。この点は、今後の運用の面になるものと思いますが、検討を加えながら進めてまいりたいと思う。

委員長 ・そのほか、御意見等ありますでしょうか。
特によろしければ、本日の委員会は、以上とさせていただきます。